


相模原市の保健師



保健師活動の目的



「市民一人ひとりが、
自らの健康をコントロールし改善していけると共に、
主体的に健康づくりを支える環境づくりに取り組み、
いつまでも住み慣れたまちで
自分らしく健康でいきいきと暮らすことができる」



神奈川県における相模原市の位置

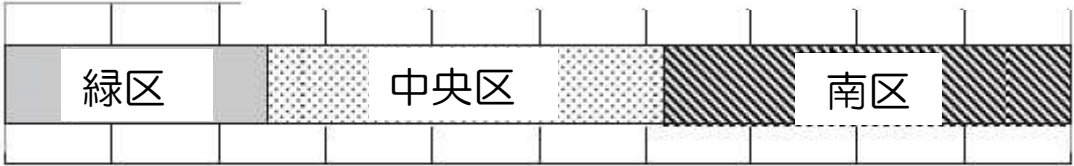
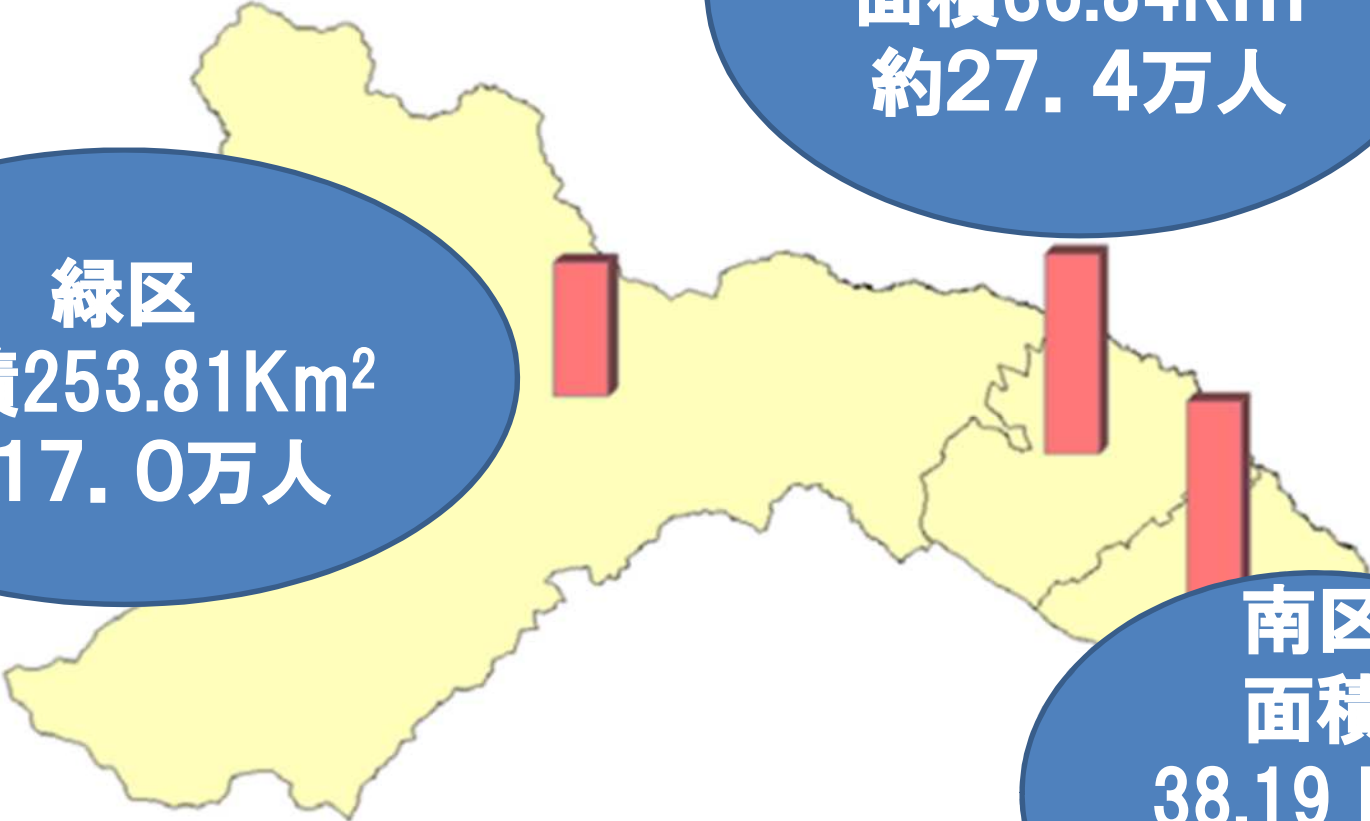


相模原市の人口
約72.6万人

中央区
面積36.84Km²
約27.4万人

緑区
面積253.81Km²
約17.0万人

南区
面積
38.19 Km²
約28.2万
人



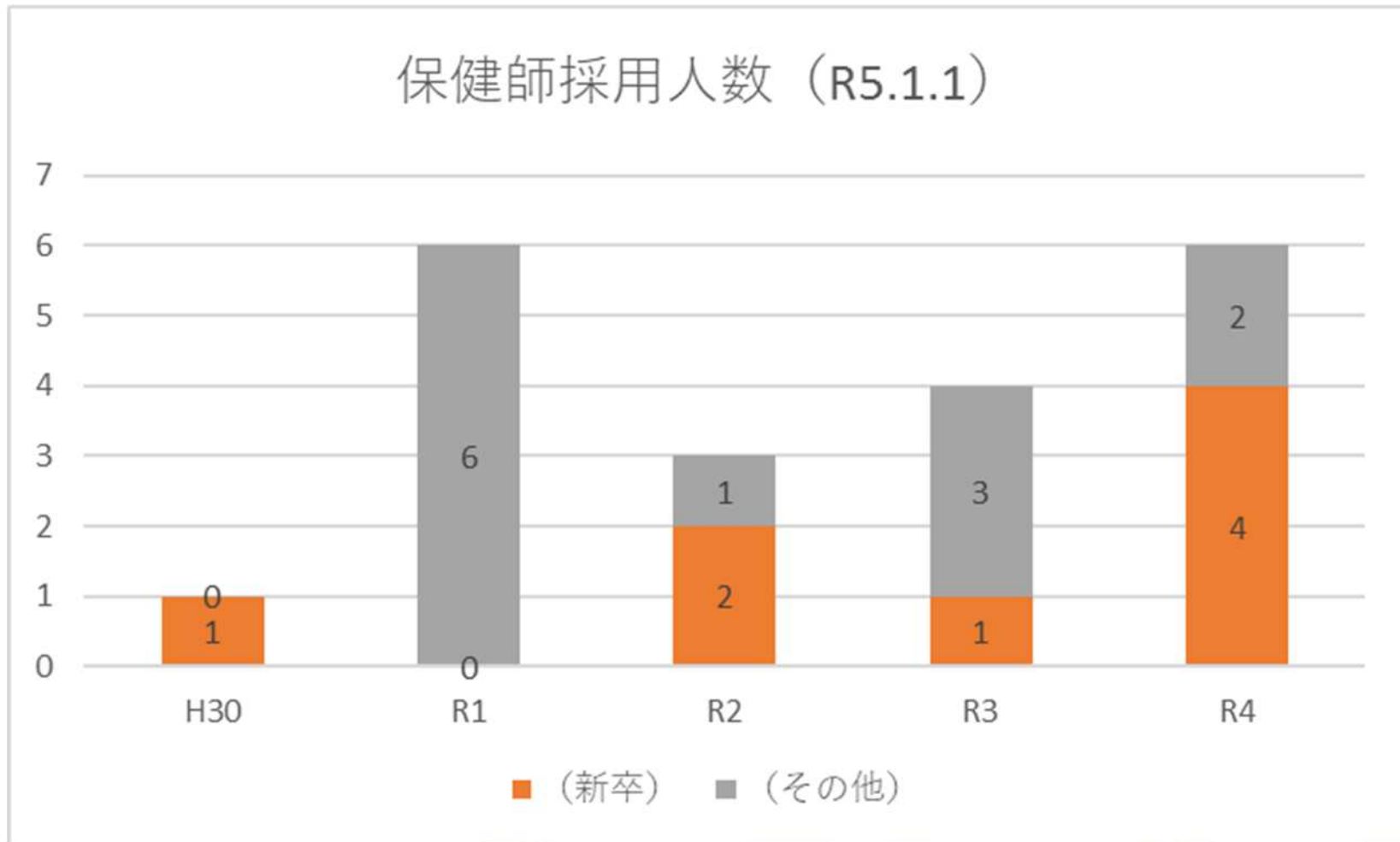
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

R3.9.1
月報 統計さがみはらより

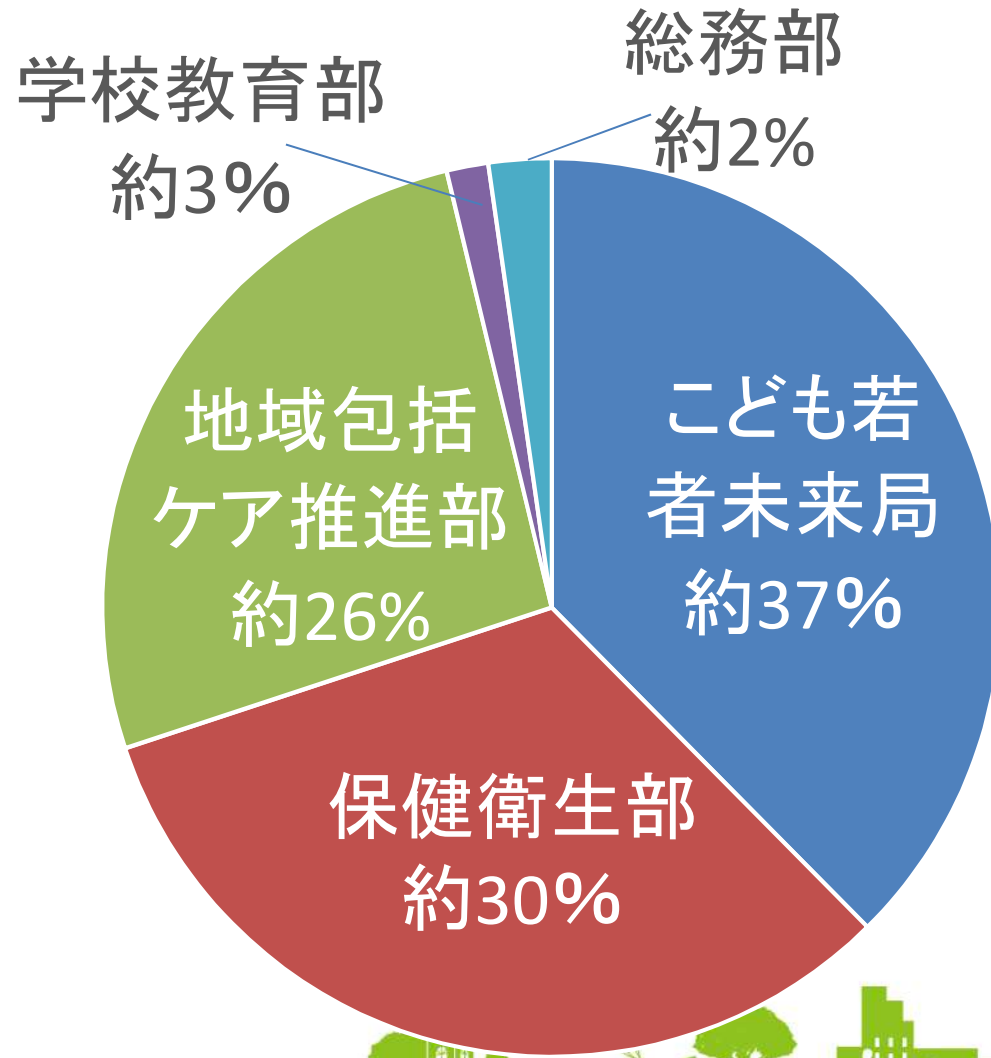
相模原市の魅力



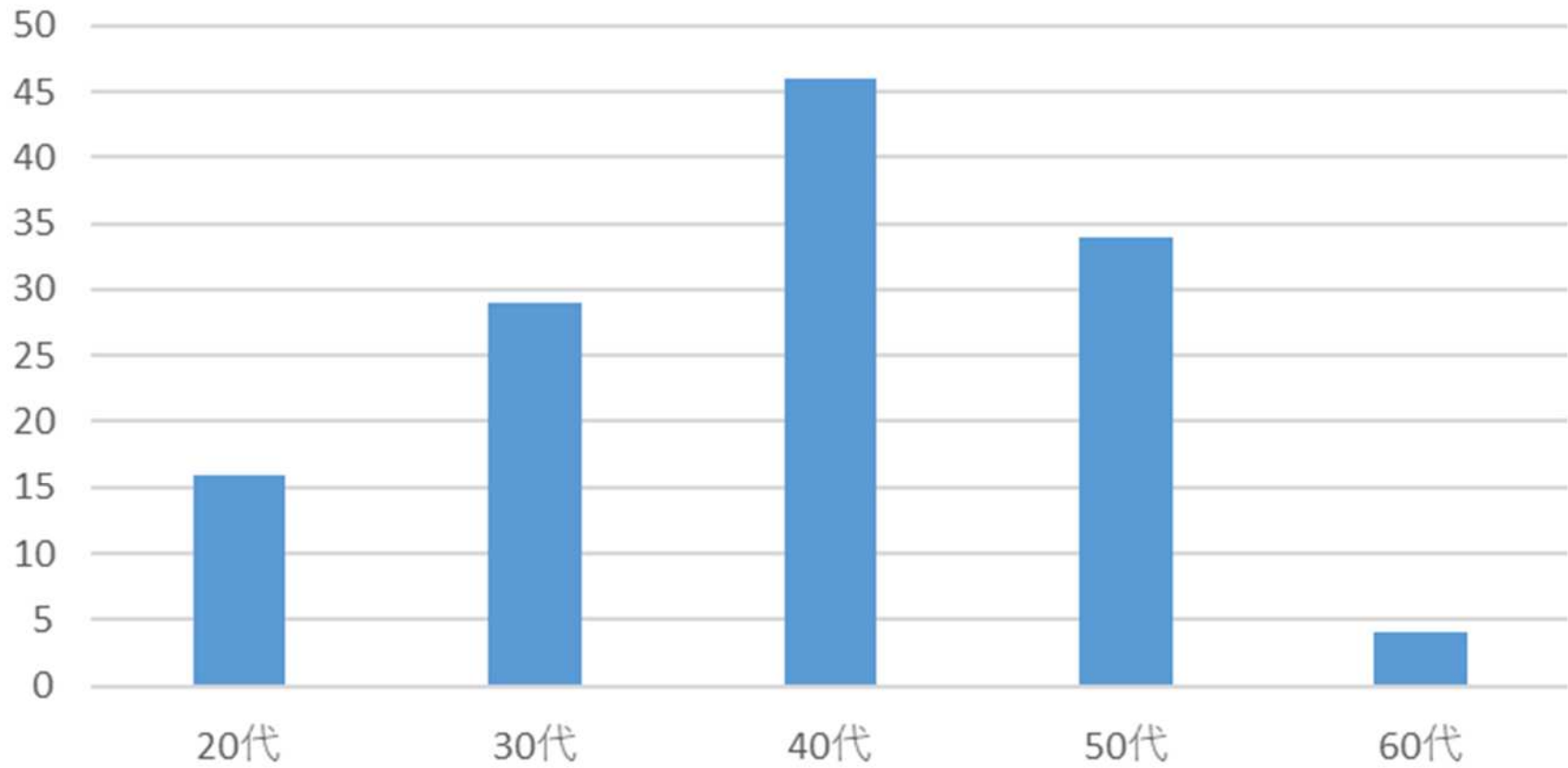
保健師採用人数 (R4.4時点)



保健師配置割合 (R5.1時点)



保健師年代別人数 (R5.1)



業務の種類で分けると

保健衛生分野

母子保健
児童福祉分野

感染症分野

難病分野

高齢者保健分野

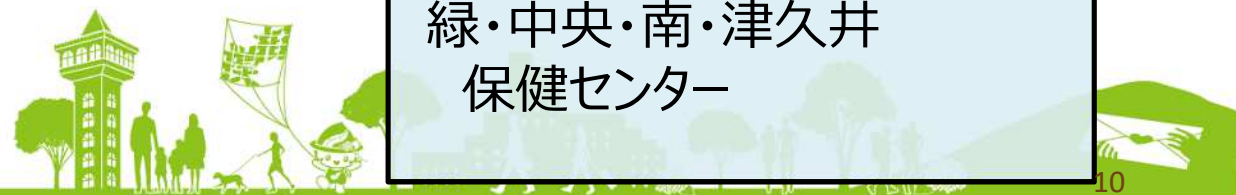
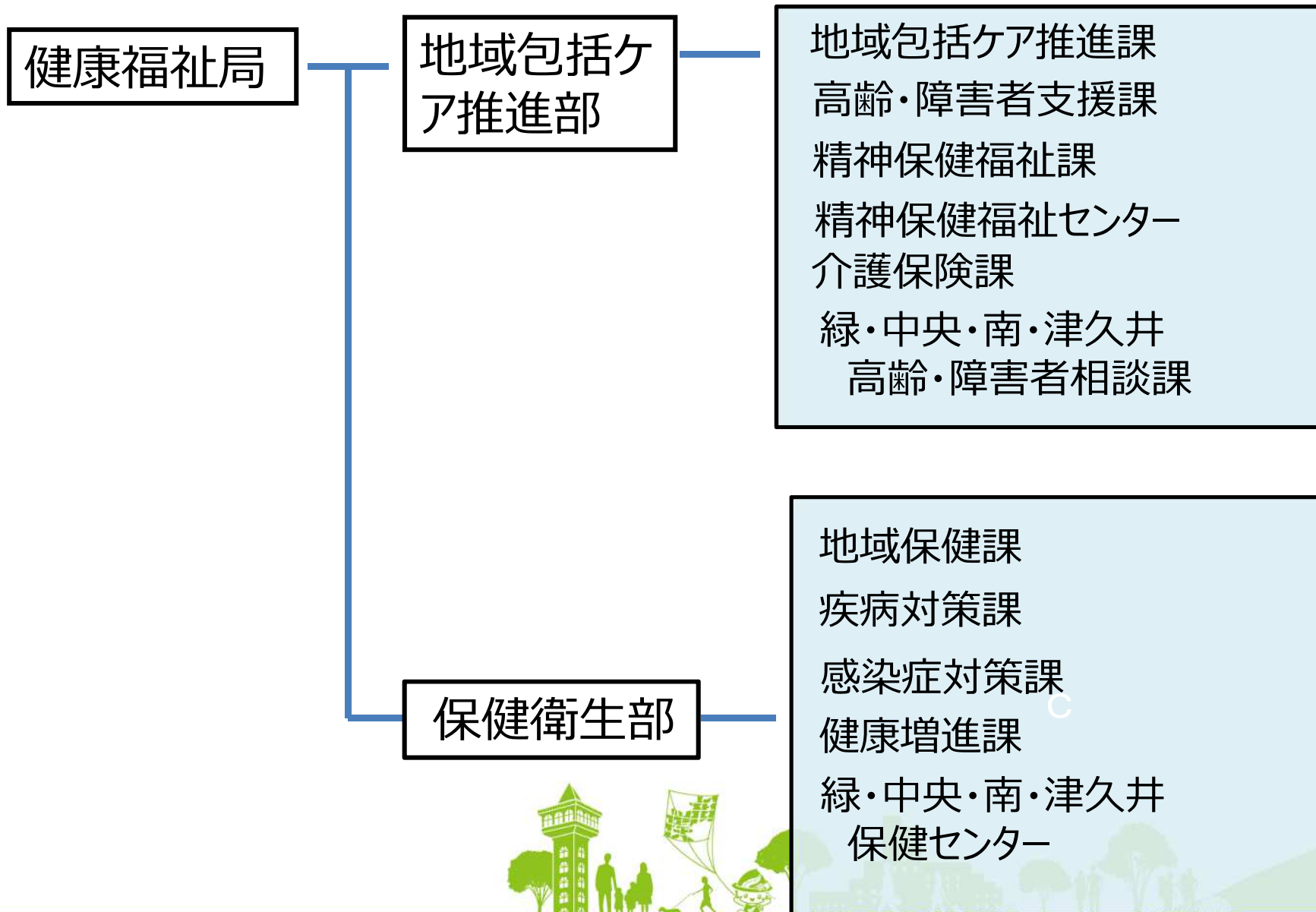
障害児分野

産業保健分野

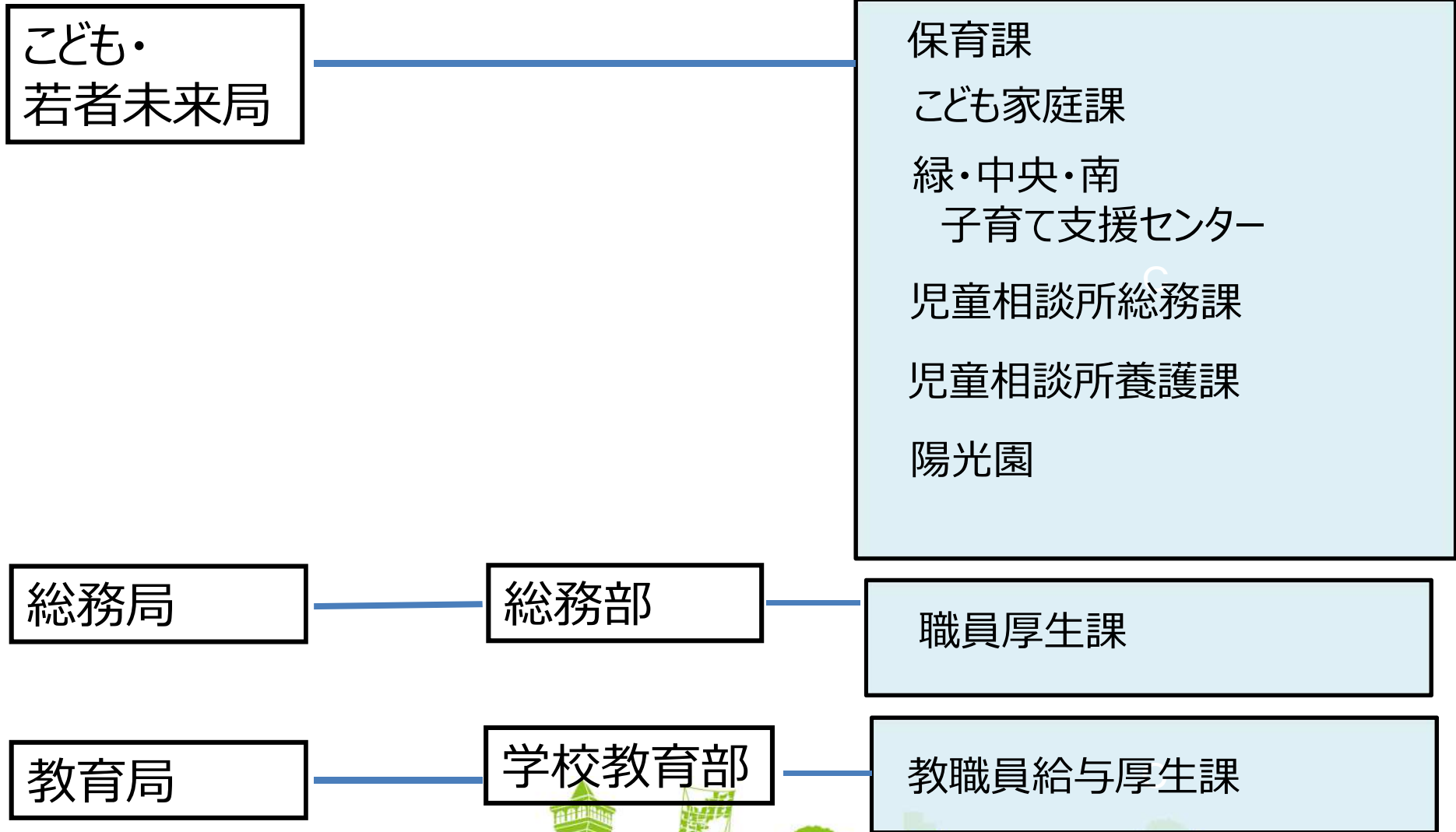
精神保健福祉分野



保健師配置先 4局24課



保健師配置先 4局24課



保健師の1日のスケジュール

潤水都市 さがみはら

8:30 出勤。朝の会で情報共有やスケジュールの確認

10:00 健康教室や特定保健指導教室の開催、片付け

12:00 昼休み

13:00 面接や訪問の実施、会議へ参加

16:00 難病申請受付事務 担当ケースの電話かけ、記録

17:15以降 業務や時期により、残業する日、定時に帰る等



保健活動の実際



健康教育



健康相談



普及啓発

病れやすいことを
周囲に告知しておくこと
知ってほしい。

差別や偏見をなくし、
難病について正しく
理解してほしい。

趣味を楽しんだり
旅行をするなどの
ほっとできる
活動がほしい。

難病があっても
自分らしく
生きるために

仕事を続けたいけど
治療を受けながら
子育てをしたい。

難病の症状や程度はさまざまです。
その程度は他人にはわかりません。
あなたの身近に「難病」として生きている人もいます。
難病のみなさんが自分らしく生きるために
一緒に考えてみましょう。

家族のサポートがあっても
メイクや髪型なども
楽しみたい。

フレックスタイム制や
テレワークなど
柔軟な働き方の中から
自分にあったスタイルを
選みたい。

休日に合わせて
仕事や家事を
控えられるといい。

相模原市 疾病対策課 難病対策班 042-769-8324

2月最終日は世界希少・難治性疾患
いわゆる「難病」の日です

難病は持ちがかる可能性があります。病気を患っていても、
一人ひとりが繋がって、支えあい、自分らしく生きる社会を

地域の中で
難病
一人ひとりが繋がって

解決のヒントは
難病
の中にあってある

社会の中で
難病
一人ひとりが支えて

家庭・学校・
職場の中で
難病
一人ひとりが支えて

困難はあるけれど
病気と共に生きるために

「難病」とは、病が非常に稀性の疾患で、病状の経過が明らかでなく治療方法が確立されていない
ため診断に難る疾患が多数を占めます。稀が難病の疾患数は約3300疾患あり、稀疾患
で患者数が多い疾患は遺伝性代謝病、パーキンソン病、全身性エリテマトーデスなどです。
病状の症状や程度は個々の状況により異なります。

相模原市疾病対策課 難病対策班 042-769-8324

相模原市保健福祉局 健康推進課 042-769-8324

<http://www.city.sagamihara.lg.jp>





普及啓発

世界希少・難治性疾患の日です
2月最終日は

潤水都市 さがみはら

難病は誰でもかかる
可能性があります

難病について
一緒に考えてみませんか？



健康危機管理



地域づくり

定義

「地域の人々の暮らしや健康を守り、
人々が望む生活を目指して行われる
諸活動であり、そのプロセス。」



地域づくり

難病対策地域協議会：
地域における難病の患者への支援体制に関する
課題について共有し、地域の実情に応じた体制の
整備について協議を行う。

令和4年度 上記協議会の中に
『難病患者在宅療養支援部会』を設置



難病患者在宅療養支援部会について ＜イメージ図＞

- ・療養生活全般に関するアンケート調査
- ・事例検討
- ・好事例についての情報共有



短期目標
関係機関の顔の見える
関係づくり、情報共有

- ・利用できるサービスや事業についての情報共有
- ・適切な情報提供、支援機関へのつなぎ、連携



短期目標
難病患者・家族、支援者関係者のニーズ把握ができ、地域の課題について検討できる。

長期目標
難病患者、家族が適切な支援を受けながら病気を受け入れ、地域でその人らしい療養生活を送ることができる。

短期目標
難病患者・家族が必要時、適切な相談窓口やサービスの利用ができる。

- ・自助、共助、互助の必要性
- ・地域住民の理解、協力
- ・心得、台帳の改訂



長期目標
関係機関との
包括的支援体制の構築



- ・タイムリーな相談対応、個別ケースの情報共有、支援検討
- ・自分らしい療養生活、治療方針の選択ができるような支援



短期目標
災害関係資料を基に有事に備えた意識づけ、備えができる

短期目標
診断告知時や意思決定支援時、サービス利用調整や災害時支援の際等に関係機関が連携し、支援ができる。

研究への取組み

日々の活動を積極的に

学会等へ報告しています

- ◇日本公衆衛生学会 示説発表
- ◇神奈川県公衆衛生学会
- ◇日本公衆衛生看護学会学術集会（ワークショップ）
- ◇全国精神保健福祉センター研究協議会
- ◇保健師ジャーナル
- ◇保健師・看護師の結核展望 等



新型コロナウイルス対応

- 患者発生時の、積極的疫学調査、療養場所の調整
- 濃厚接触者の特定と必要時検査案内
- 施設（高齢者施設等）での感染状況の調査、患者のリスク管理

※各課から、感染症対策課へ応援体制あり
通常の業務＋コロナ対応もあり



人材育成 ガイドラインの作成

新任期の
保健師に
期待される能力

- ・家庭訪問
- ・面接・相談
- ・健康教育
- ・個別支援ができる
- ・事業の計画・実施
評価ができる
- ・健康危機管理が
できる・・・

保健師人材育成 ガイドライン



相模原市

行政職員として
獲得したい
基本的な能力

- ・円滑なコミュニケーション
をとることができる
- ・組織体制を知っている
- ・情報の収集、管理が
適切にできる・・・



人材育成

職場指導OJT(新規採用者OJT)

◆職場の職員による指導

職場指導員や身近な先輩保健師、他職種による指導

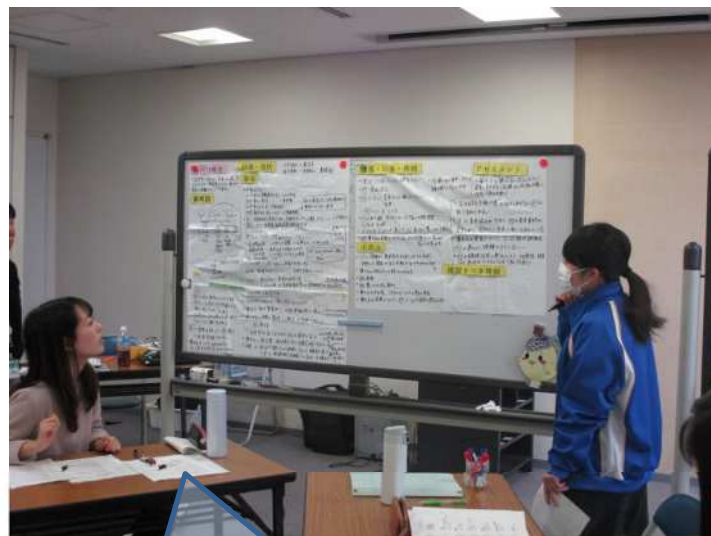
◆地域保健職場指導研修

- ① 定期キャリアアップミーティング
- ② 他課見学研修：保育園、児童相談所など
- ③ 援助技術取得支援：家庭訪問、健康教育、健康相談の同席、同行、助言など
- ④ 職場指導員支援：職場OJTへの助言など



新任期保健師による事例検討会

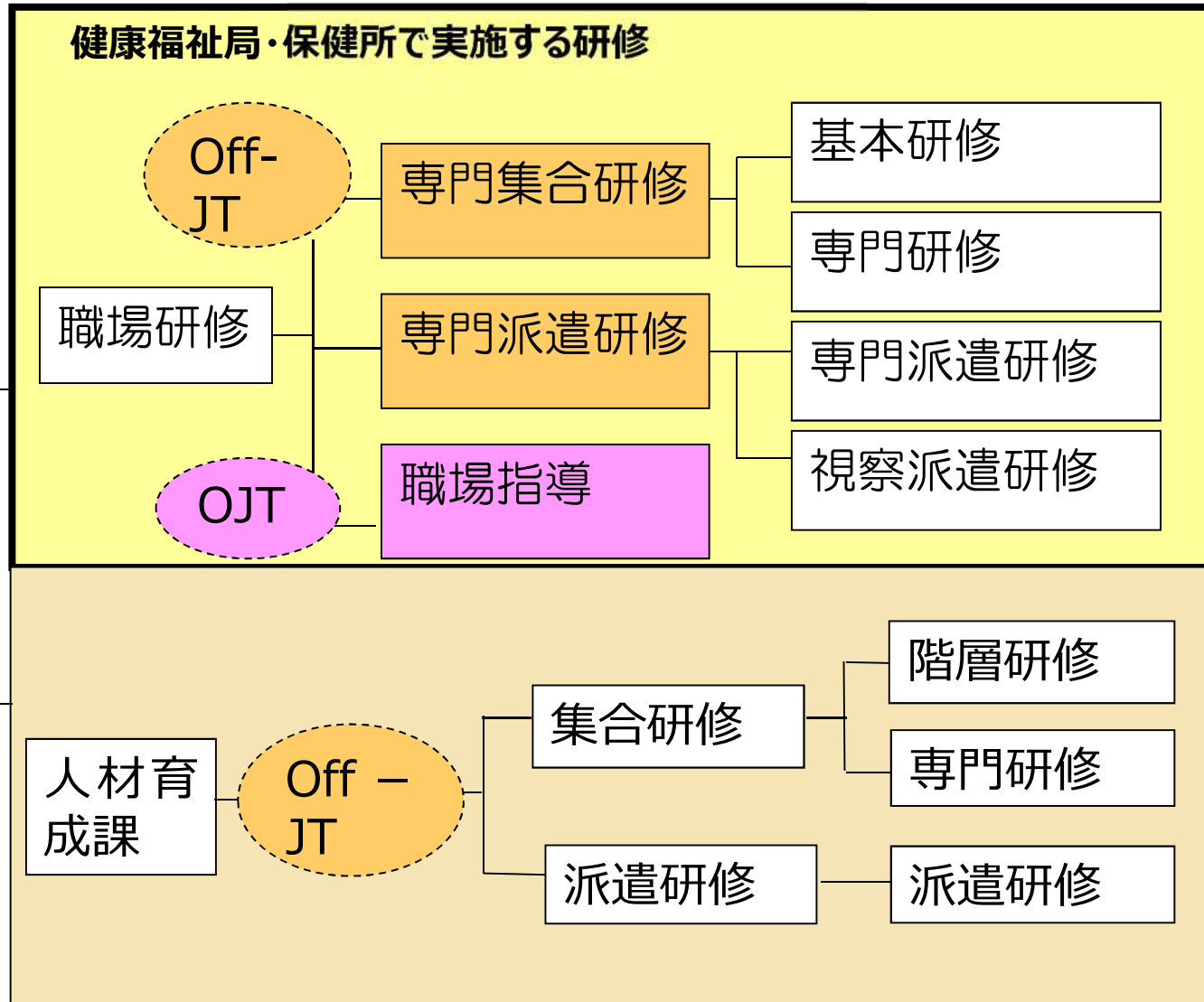
参加者も研修の
運営に挑戦！！



今回は現場の先輩保健師
が助言者として出席。
支援の手がかりが得られた
だけでなく、モチベーションも
向上！！

人材育成

相模原市職員研修体系図



自己研修



専門スキルの向上

専門研修

派遣研修	集合研修
公衆衛生看護研修	記録研修
エイズ対策研修	健康危機管理研修
感染症集団発生対策研修	健康な地域づくりに向けたステップアップ研修
難病患者支援従事者研修	レジリエンス研修
行動変容事業のための保健指導者養成セミナー	伝達研修

この他に、職員研修所で企画される研修への参加



相模原市を受験したきっかけ

潤水都市 さがみはら

(採用3年目までの保健師)

保健所保健師として、多分野の保健師業務を行ってみたかったから

市内の大学に通っており、自分にとってなじみのある場所だったから

相模原市で実習し「職員の人柄が素晴らしい」と思ったから

保健師の資格をとる記念に、行政を受けてみた



相模原市に就職して

(採用3年目までの保健師)

保健師の先輩方の人柄に支えられて、恵まれた環境で仕事ができている。失敗しても、保健師として学べるありがたい環境。

住民と一緒に一つの事業を作り上げることを経験でき、今後保健師として活動するにあたり、素晴らしい土台になっていくと思う。

先輩が優しくて、丁寧に教えてくれる。業務は多く大変だけど、がんばろうと思う。

担当地区の方々に継続して深く関わることで、健診などの事業を通して母子の成長をみる事ができるのはとても嬉しく、楽しい。